

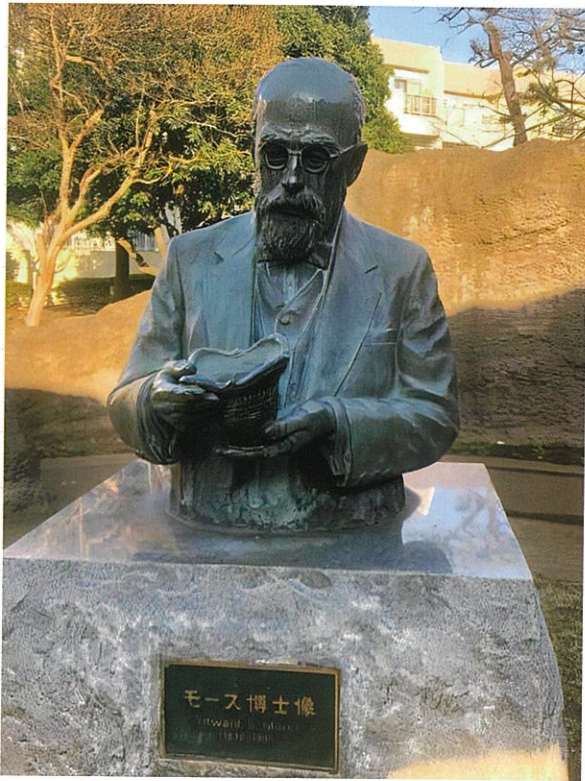


# モース博士が見つけた 日本考古学発祥の地「大森貝塚」

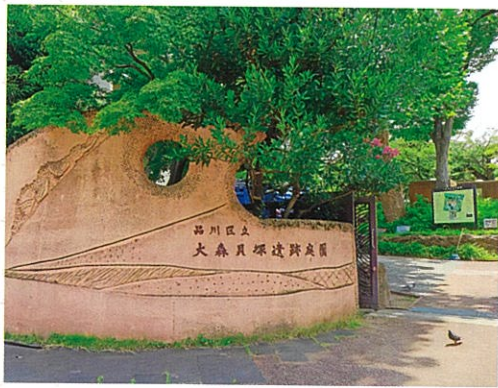
本部長 菅野ひろみ

JR京浜東北線・大森駅から徒歩5分。線路沿いを少し歩くと、緑に包まれた静かな庭園が現れます。そこが「大森貝塚遺跡庭園」——日本の考古学がここから始まったと言われる場所です。私たち大森事務所からも、昼休みに散歩できるほどの距離にあります。

この貝塚を発見したのは、アメリカ人動物学者エドワード・S・モース博士(1838~1925)。博士は貝の研究者として来日中の明治10年(1877年)、横浜から東京へ向かう汽車の窓か



▲モースは東京大学で動物学を教えた。



▲庭園の外観

ら、崖に露出した地層の中に貝殻が混じる様子を見つけました。興味を持った博士はすぐに現地を調査し、約4か月をかけて本格的な発掘を行いました。

その成果は2年後の明治12年(1879年)に出版された『Shell Mounds of Omori(大森貝塚)』としてまとめられ、日本で初めての科学的な発掘報告書となりました。この出来事をきっかけに、大森貝塚は「日本考古学発祥の地」と呼ばれるようになったのです。その後の調査では、縄文時代の住居跡や装身具、魚や動物の骨などが見つかり、貝塚が当時の人々の生活の「ごみ捨て場」であったことが明らかになりました。

庭園内では貝層の断面

が展示されており、遠い縄文の暮らしを間近に感じることが出来ます。

昭和30年(1955年)には国の史跡に指定され、現在は地域の人々の憩いの場として親しまれています。

四季折々の花が咲き、

すぐそばを走る東海道線や京浜東北線の電車の音が心地よく響きます。散策のあとは、発掘資料を展示する「品川歴史館」や、桜の名所として知られる「大井水神公園」へ立ち寄るのもおすすめです。春にはライトアップされた夜桜も見事で、少し足を延ばせば「しながわ区民公園」や「しながわ水族館」にも歩いて行けます。

歴史と自然、そして街の息づかいを感じられる大森貝塚。日々の散歩や休日のひとつときに、ぜひ訪れてみてはいかがでしょうか。



▲夜桜も綺麗

縄文時代って  
何年前?



今から  
約15,000年前~  
約2,400年前まで!



狩猟採集を基盤に、定住生活が始まった時代です。

(出典)北海道・北東北の縄文遺跡群  
<https://jomon-japan.jp/>